

南相馬

# ミュージアム通信

Minamisoma City Museum News

Vol. 58

令和7年12月1日発行  
編集・発行 南相馬市博物館  
原町区牛来字出口194  
TEL 0244-23-6421  
URL <https://www.city.minamisoma.lg.jp>

令和7年度 企画展

つむ

## 記憶を紡ぐ 南相馬市博物館30年

令和7年  
(2025) 12/6 土

令和8年  
(2026) 3/22 日

開館30周年を記念して、  
南相馬市博物館の取り組みと  
地域に息づく記憶を紹介します。

- △無料観覧日 1月12日(月・祝:成人の日)
- △休館日 毎週月曜日(ただし祝日は開館)、  
年末年始(12月29日~1月3日)、  
1月13日(火)、2月24日(火)
- △観覧料 南相馬市の高校生以下:無料  
一般 :400円  
高校生(市外) :200円  
小・中学生(市外):100円

### 企画展関連イベント

#### 1. 座談会

「まちの博物館 開館～震災～この先のこと」  
3月14日(土) 13時30分～15時30分

講師：二上裕嗣氏 (南相馬市博物館収集展示委員会 委員長)  
佐藤祐子氏 (札幌市 つきさっぷ郷土資料館 副館長)  
藤田宏幸氏 (南相馬市高平生涯学習センター所長)

#### 2. 講座「南相馬市の○○のはなし」

民俗、自然、考古の3つの分野で、長年にわたり活躍  
してきた方がたが贈る、南相馬市のとておきの話。  
全3回。詳細は裏面へ。

## 特別講演会

恐竜研究の第一人者が、  
その最前線を語る!

ダイナソー  
小林が  
やってくる!



講師：小林快次氏  
(北海道大学教授)

演題：  
「アジアの恐竜研究  
最前線」

1/17(土)

13:30-15:00  
会場：さくらホール  
お申込み：  
下のQRコードから



講師：吉田純輝氏  
(福島県立博物館副主任学芸員)  
演題：  
「福島県浜通りの  
恐竜化石」

お問い合わせ：  
TEL 0244-23-6421

市内文化財・館蔵資料紹介  
南相馬のたからもの

しんめ  
No.2 神馬図絵馬

相馬太田神社に納められていた絵馬。馬の姿が写実的に描かれています。表面左下には明治時代に活躍した画家、ひらふくすいあん福穂庵の名前が見え、裏面には明治8年5月(1875)に秋田県仙北郡飯詰村(現在の秋田県仙北郡美郷町飯詰)の江畠氏から奉納されたことが記されています。江畠氏は大地主で、農作業に使う飼馬の安全祈願のため絵馬を奉納したようです。当時の相馬太田神社が、遠方からも信仰されていたことがわかる貴重な資料です。当館常設展示室に展示中。相馬太田神社所蔵。南相市指定有形文化財(絵画)。



12月~3月 南相馬市博物館の催し物



大人も子どもも楽しめる催し物。小学3年生以下は保護者同伴でお願いします。

\*参加申込は受付開始日の午前9時から先着順。  
お問い合わせ:南相馬市博物館 0244-23-6421  
詳細は博物館ウェブサイトにも掲載しています。

開催日時	タイトル	内 容	受付開始日時
12/20(土) 9:30-11:30	体験学習 冬の野鳥を観察しよう (浦尻貝塚周辺の野鳥)	定員 20人 講師:増渕翔太氏(福島市小鳥の森レンジャー)、菊地一成氏(日本野鳥の会南相馬会員) 浦尻貝塚周辺の野鳥を観察します。 【集合場所】浦尻貝塚縄文の丘公園ガイダンス棟 【持ち物】歩きやすい服装(防寒着)、(あれば)双眼鏡と野鳥図鑑。	受付中
12/21(日) 13:30-15:30	体験学習 正月飾り作り	定員 15人 講師:高田求幸氏(博物館資料調査協力員) ワラで、注連飾り(しめかざり)を作ります。自作の注連飾りで正月を迎えましょう。 【持ち物】材料費900円	受付中
1/17(土) 13:30-15:30	講座 史料をよむ 「戦国時代の相馬一族と南奥世界⑤」	定員 40人 講師:岡田清一氏(東北福祉大学名誉教授) 戦国期(16世紀前半)の相馬顯胤・盛胤父子と伊達稙宗・晴宗父子の関係、とくに伊達天文の乱とその後を、南奥羽の情勢とともに、史料を読みながら考えていきます。 【持ち物】筆記用具	12/20 9:00~
1/17(土) 13:30-15:00	特別講演会 アジアの恐竜化石研究最前線 福島県浜通りの恐竜化石	定員 500人 講師:小林快次氏(北海道大学教授)、吉田純輝氏(福島県立博物館副主任学芸員) 恐竜研究の第一人者である講師から、世界と福島県における恐竜研究の最前線について講演いただきます。 【会場】さくらホール 【お申込み】表面QRコードから、または電話でご予約ください。	12/11 9:00~
2/28(土) 13:30-15:00	企画展記念講座 南相馬の〇〇なはなし ①自然編	定員 40人 講師:竹谷陽二氏(元福島県立博物館学芸員) 南相馬市の自然についての講演と、裏話や思い出を交えた常設展示(自然分野)の解説を行います。	1/31 9:00~
3/7(土) 13:30-15:30	講座 史料をよむ 「戦国時代の相馬一族と南奥世界⑥」	定員 40人 講師:岡田清一氏(東北福祉大学名誉教授) 戦国期(16世紀前半)の相馬顯胤・盛胤父子と伊達稙宗・晴宗父子の関係、とくに伊達天文の乱とその後を、南奥羽の情勢とともに、史料を読みながら考えていきます。 【持ち物】筆記用具	2/7 9:00~
3/8(日) 13:30-15:00	企画展記念講座 南相馬の〇〇なはなし ②民俗編	定員 40人 講師:岩崎真幸氏(南相馬市博物館協議会会長) 南相馬市の民俗についての講演と、裏話や思い出を交えた常設展示(民俗分野)の解説を行います。	2/8 9:00~
3/14(土) 13:30-15:30	企画展記念座談会 「まちの博物館 開館～震災～この先のこと」	定員 40人 講師:二上裕嗣氏(南相馬市博物館収集展示委員会委員長)、佐藤裕子氏(札幌市つきさっぷ郷土資料館副館長)、藤田宏幸氏(南相馬市高平生涯学習センター所長) 南相馬市博物館にかかわりのある講師の方がたによる座談会。開館の際の思い出や、震災時に苦労したこと、そして「町の博物館」があることの意義や、博物館の将来のあり方などを語り合います。	2/14 9:00~
3/21(土) 13:30-15:00	企画展記念講座 南相馬の〇〇なはなし ③考古編	定員 40人 講師:玉川一郎氏(南相馬市博物館収集展示委員会副委員長) 南相馬市の考古分野についての講演と、裏話や思い出を交えた常設展示(考古分野)の解説を行います。	2/21 9:00~
3/22(日) 10:00-12:00	体験学習 本物にさわって勾玉を作ろう	定員 15人 講師:森幸彦学芸員 古代の装飾品「勾玉」の本物にさわりながら、その歴史や技術を学び滑石で作ります。 【持ち物】蛍光ペン、鉛筆、汚れてもいいタオル1枚	2/22 9:00~

\*イベントは都合により内容・時間・場所を変更したり、中止する場合があります。 \*一部を除き無料です。

南相馬市博物館

問い合わせ T975-0051 福島県南相馬市原町区牛来字出口194

電話: 0244-23-6421 FAX: 0244-24-6933 E-Mail: hakubutsukan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00~16:45 (最終入館は16:00まで)

休館日 毎週月曜日および年末年始(12月29日~1月3日)

★月曜日が祝・休日の場合は開館、その翌平日が休館日となります。

博物館の催し物の  
ページはこちら→



一般 300円(250円) 高校生 200円(150円) 小中学生 100円(80円)

( )内は 20人以上の団体料金 ★企画展開催中は観覧料が異なる場合があります。

★次の方は無料 ①市内および飯館村に居住・通学する小中高生 ②障がいの方と付き添い

の方(1人まで) ③生活保護世帯の方 (②③の方は入館の際に手帳等をご提示ください。)



※常磐道南相馬ICから約15分